

「いじめなくそうデー」の取り組み資料紹介（9月）

今回は言葉の持つ力について考えてもらえたらと思います。

テレビやネットで、いじめなどのニュースを見たとき、皆さんはどう思いますか？僕は「いじめる側がこんなことしなかったらいいのに」とか「何故いじめたりするのだろう？」と思うことがあります。

学校ではよく友達をいじったりいじられたりする場面を目にすることがあります。その時、いじっている側は相手の気持ちを考えていますか？一歩間違えると、その「いじり」が「いじめ」になってしまうことがあります。そのためにも言葉を発言する前にちゃんと相手の気持ちを考える必要があります。

僕はネットで「言葉のつかい方」という作文を見つけました。その作文には「言葉は人を傷つけもするし、幸せにすることもできるものだと思う」と書かれていました。

言葉はとても大きな力を持っています。

自分が辛い時、友達や家族から励ましの言葉をかけてもらおうと、元気が出ます。少しの言葉だけでも、今まで悩んでいた気持ちが軽くなることもあります。

ふとした会話の中で、自分にその気がなくても、相手からすると嫌な気持ちになったり、その逆もあり得ます。

言葉は一度口にしてしまうと、訂正することはできません。だから自分の言葉に責任を持つことが大切なのです。

友達や家族とコミュニケーションを取るときなどに必要不可欠な言葉。使うなら、人を幸せにする言葉をたくさん使いたいです。

いじめは今も増え続けています。この放送を聞いて、普段発している言葉についての意識を持つ人が多くなればと思います。